

平成三十一年度 大阪信愛学院高等学校 入学試験問題

《 国 語 科 》

字数制限のあるものは、句読点を含むものとします。
問題文は、設問に応じて、表記等を変えている場合があります。

(一) 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

個人的な例でキョウシユクだが、私がフランスに留学していたときのことだ。私は世界各国の学生たちが集う学生寮に住んでいた。各階には共同のダイニングキッチンがあり、皆で料理を作って夕食を取ることになっていた。食後はそこでワインやビールを飲みながら、たわいのない話や議論をするのが日々の楽しみだった。ある夏の夜、いつものようにダイニングルームで話をしていると、バルコニーに面して開放放ったパティオ窓から、照明に誘われて何匹かの羽虫が室内に入り込んできた。そのとき、フランス人の友人が「Papillon!」(「パピヨン!」)と叫んだ。「パピヨン」^{※1}と思った私は、「夜なのに蝶なんてめずらしいな」と、彼が指差した壁のブラケット灯を見上げた。すると、そこには一匹の茶色の蛾が羽ばたいていた。「なんだ、蛾じゃないか」と私は思ったが、そこで思い出した。フランス語では蝶と蛾を区別することなく、同じpapillonという単語で表すのだ、と。^{※2}

〈中略〉

異なる言葉で世界と接するとき、人は異なった「世界」、異なった「意味空間」に住んでいると言っている。過言ではない。ちなみに昆虫の物理的形態に立脚する昆虫学の観点からは、蝶と蛾をゲンミツに区別することはできないらしい。だからといって日本語が間違っているとか、反対に、区別しないフランス語、ドイツ語―区別をしない言語の方が多い―が正しいとかいうことではない。それぞれの言語が別々の仕方では世界を「分節」し、意味づけているというだけのことであり、その意味づけ方は、言語の内部構成や、言語が使用される社会や文化のあり方・歴史に規定されている。

③ 同様の例として、「出世魚」を挙げることもできるだろう。「出世魚」は同じ魚であるのに稚魚から成魚に至るまでの成長過程に合わせて名前が変わる。有名などころでは、ブリは、ワカシ、イナダ、ワラサ、ブリと変わる。こうした名称シユウカン^キは外国語には少ない(さらにブリの右の呼び名は関東地方のもので、関西地方ではツバス、ハマチ、メジロ、ブリとなり、同じ「日本語」のなかでさえ差異がある)。これは日本において魚が食料としてはもちろんのこと、文化的にも特別な重要性を^オフヨ^カされてきたことのシユウコ^カだろう。江戸時代まで学者や芸人は、元服や出世に伴って名前を変えるシユウカン^キがあった。「出世魚」という名称自体、こうした文化を反映したものとされている。

逆に、食肉に関する動物の名詞については、日本語は差異化が乏しい。たとえば、フランス語では、農耕、食肉用の去勢した牛はboeuf、乳牛用の雌牛はvache、子牛はveau、去勢していない雄牛はtaureau、と言う。日本語ではすべて「牛」という単語に「雄」や「雌」や「子」といった語を^A的に付加して区別するだけなのに対して、フランス語ではそれぞれ別々の^Bが与えられている。これは欧米における肉食文化の反映であろう。鶏や羊も同様である。一般にヨーロッパ圏のほうが日本よりも、魚以外の肉食関係の動物の名称が言語上で差異化(細かく分類)されている場合が多い。そこには物質的な食料が、食生活という文化・社会的水準へと昇華されるプロセスが言語に反映され、さらに言語がその昇華プロセスを確定・強化していくという関係がある。

こうしてひとたび形成された言語的「現実」は、人々が物や世界や社会を見たり、判断したりする際の一種の^Cとして作用し、象徴レベルの初期設定として、人々がなしうる行動や将来の、その可能性の境界線を引く。言語が形作るこの境界線のこちら側とあちら側において、ひとは^⑤実在しないものを見たり、実在するものを見なかったり見誤ったりするのである。

※1 パティオ・・・庭やベランダに出られる大きな窓

※2 プラケット灯・・・壁面の上部に取り付けるタイプの照明器具

問一 二重傍線部ア、キのカタカナを漢字に直し、漢字はその読みを答えなさい。

問二 傍線部 a、b の使い方として正しいものを一つ選んで記号で答えなさい。

- a ア 弟は幼いのでたわいのないしゃべり方をする。
- イ たわいのないおしゃべりで一晩中起きていた。
- ウ 母は私に対してたわいのない怒り方をする。
- エ たわいのない考えで人に迷惑をかけてはいけません。

b ア 私の家族は、大阪に住んでいると言っても過言ではない。

- イ 雪が解けると水になると言っても過言ではない。
- ウ 犬と猫を飼いたいと希望しても過言ではない。
- エ 人類の滅亡が確実に起こると言っても過言ではない。

問三 傍線部①「そこ」の指示内容を、本文から抜き出して答えなさい。

問四 傍線部②の表現技巧を漢字で答えなさい。

問五 傍線部③「同様の例」とはどういう例ですか、説明にあたる本文を三十字程度で抜き出し、初めと終わりの五字答えなさい。

問六 傍線部④「こうした文化」とはどういう文化ですか、本文の語句を用いて答えなさい。

問七 空欄 A・B には品詞名が入ります。文脈から考えてそれぞれ適切な品詞名を補いなさい。

問八 空欄 C にあてはまる語句として最も適当なものを次から選んで記号で答えなさい。

- ア コンピューター
- イ ゲーム
- ウ メガネ
- エ グラフ

問九 傍線部⑤の例としてあてはまらないものを一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 同じ魚の成長に合わせて名前を変える。
- イ 牛の状態に応じていくつも別の呼び名がある。
- ウ ワインやビールなど、酒にも多くの種類がある。
- エ 武士、学者、芸人など、様々な職業の名称がある。

(二) 次の本文を読んで後の間に答えなさい。

小学校六年生の少女、千佳は大病院に入院し、四度目の心臓手術を受けなければならぬ。千佳は口が悪く、「私はどうせ死ぬ子だから」などと母親の神経を逆なでする日々を過ごし、周りの大人を困らせている。そんなある日、ドアでつながる隣の病室に立木という、三人の子どもをもった男性が入院してくる。彼の病は筋肉の力が次第に衰えていくという、治療が期待できない病だった。

立木さんが入院して一週間たって、奥さんが見舞いに来た。この場合、見舞いに来たというのはおかしいのかしら。

奥さんは物腰のヤワ^アらかい人で、病院の人やわたしたちにあいさつをすませると、三日間いて、立木さんの身のま

わりのことを A かたづけけた。

そんなに仕事ばかりしていて立木さんが

① とわたしは思ったくらい。

でも立木さんも奥さんも平気な顔をしていた。

奥さんが帰ってしまったから、立木さんはわたしに、その奥さんのことを少し話してくれた。

「あの人おかしいんですよ。今森商店というところへホースを買いにいった、まけさせてきたんですから」
わたしははじめなんのことかわからなかった。

立木さんが「水のもれるホース」とヒントをアタえてくれたのでやつと意味がわかった。
イマモリ商店と水もれホース。

けんかになるところを、値引きさせたというのだからよほどユーモアのある人なんだろうと思う。

「病院でぼくの病名をはじめツツげられた帰り、ぼくたちはうどん屋でうどんを食ったんです。うどんのゆげでカムフラージュしてあの人泣くんですからねえ」

立木さんはそれを [B] いった。わたしは立木さんの顔をじっと見た。

「千佳ちゃんは夢のなかで夢を見たことがありますか」

立木さんはいった。わたしは [C] を振る。

「千佳ちゃん、なまはげって知ってるでしょ。若いシユウが鬼のお面をかぶって泣く子はいねえかと家家を回る東北地方のギョウジ。泣く子いねえかというのを東北の言葉でいうと、ナグゴイネガになるそうだけど、ぼくの子どもたちはそれをきくときやつきや笑うんです。おたがいに、ナグゴイネガといって遊んでいるんです。夢の中でそれが出てきたんです。でも家の中のようすがどこがちがうんです。おかしいなおかしいなと思っていると、あ、これは夢なんだ、もうカイシンの時間なんだ。また医者と看護婦がやつてくるぞと思つて目を覚ますと真夜中なんです」

立木さんのその話は、わたしにはとてもかなしかった。

わたしなら、じきに泣いたり叫んだり、ママに当り散らかしたりしてしまうことを、立木さんは自分の中に [C] 深い穴を刺つてそれを [D] 埋めているんだ。

立木さんの話はなんでもないことを [E] しゃべっているようだけど、その話からとてもシンケンに生きている人間がいるんだなと感じさせられてしまう。

〈中略〉

「ぼつぼつ決心がついたかな」

山田先生と大橋先生、それにオボンサンつまり花村先生が看護婦さんを数人つれて、わたしの病室にはいつてきた。

「そろそろ検査をはじめようか」

大橋先生がいった。

「いや！」

わたしは叫んだ。

「だんだんいけない子になるね」

ママがすみませんとあやまった。

「わたしはいやなんだから・・・」

後退りするようにわたしはいった。もう目に涙がたまっている。

「これまでの手術がなんにもならないよ。いままでががんばったんだろ」

山田先生のめがねの奥の目がすごく冷たい。私がこの人たちをきらいなのは、いつも [C] の味方みたいにものさいうくせに、カンジャさんをモルモットかなにかみたいにあつかうんだから。

子どもには猫撫で声を出して、大人にへんに冷たい。

立木さんがとなりの病室にきてから、そのことがいつそうよくわかる。

山田先生は立木さんに

「因果な病気になったもんですねえ。××さんの病気なら、まだ方法もあるが、あなたのはこれという決め手が見つかってないのでねえ」

といったし、大橋先生は

「治療しなければ五年の命ですよ。すぐ治療が始まると思いますが、大して期待できないでしょうから、入院中にお仕事をなさったらどうですか」

といった。

よくそんなことがいえるもんだ。お医者さんほどザンコクコな人種はいないと思う。

灰谷健次郎「燕の駅」より

※ オボンサン・・・千佳は親しみをこめて、若い花村医師を「オボンサン」と呼んでいる。

問一 二重傍線部ア〜コのカタカナを漢字に改めなさい。

問二 空欄A〜Eに適切な言葉を次の選択肢から選び、記号で答えなさい。(二度、同じ記号は選べません。)

ア たんたん イ うんと ウ ぽつんぽつんと エ てきばきと オ そつと

問三 空欄①にふさわしい表現を次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア さわがしくないのかなあ イ さびしくないのかなあ
ウ うれしいだろうなあ エ 気にしないのかなあ

問四 空欄②に適切な漢字一字を補いなさい。

問五 空欄③に適切な二字の熟語を補いなさい。

問六 傍線部①「うどんのゆげでカムフラージュしてあの人泣くんですからねえ」について答えなさい。
この時の心情として適切でないものを次の選択肢から記号で選びなさい。

ア 夫の病気の深刻さに衝撃を受けた心情

イ 夫を励ましたいという力強い心情

ウ 泣いている事を夫に気付かれまいという心情

エ 衝撃を受けているであろう夫を気遣う心情

問七 傍線部②「決心」とはどのような決心なのか、説明しなさい。

問八 傍線部③「いけない子」とはどのような意味なのか、次の選択肢から記号で選びなさい。

ア 乱暴な子 イ 自分勝手な子 ウ 聞き分けのない子 エ 礼儀を知らない子

問九 傍線部④「そのこと」とはどのようなことか、次の選択肢から選び、記号で記しなさい。

ア 自分がわがままな子供で、母親や周りの人に迷惑をかけていること

イ 医者はカンジャをモルモット程度にしか考えておらず、特に大人に対して冷たいこと

ウ 治療を続けていく入院生活が、非常に苦しく、逃げ出したい生活であること

エ 病気には、治療が可能な病気と、そうでない病気があること

